

第10回日中韓情報通信標準化会議の概要  
(10<sup>th</sup> CJK IT Standards Meeting)

情報通信分野の一層の発展に向けて、日中韓三カ国の民間電気通信標準化機関の相互協力をより積極的に推進することを目的とした「日中韓情報通信標準化会議」の第10回会合が、4月7日から9日までの三日間、韓国の慶州で、日中韓の4つの標準化機関（ARIB、CCSA、TTA及びTTC）から約90名の参加（ARIBからは若尾専務を団長に8名の参加）のもとに、開催されました。

今会合では、第10回全体会合のほか、第24回B3G (Beyond 3G) WG、第18回NGN (Next Generation Network) WG及び第11回N-ID (Networked (RF) ID) WGの三つの作業部会（Working Group）が並行して開催されました。

ここでは、次に示すとおり、第10回全体会合と第24回B3G WGの概要について報告します。

1 第10回全体会合

- ・ 各標準化機関(SDO)からの活動状況報告（若尾専務から、前回の中国会合以降のARIBの最新の活動状況を報告）がありました。
- ・ 各WGおよびAHグループのこれまでの活動状況報告がありました。
- ・ 今会合中に開催されたWG及びAHグループの議事概要の報告がありました。
- ・ 第11回日中韓情報通信標準化会議は、ARIB・TTCのホストで2011年4月に日本で開催されることがアナウンスされました。

2 第24回B3G WG

- ・ 各SDO並びに主管庁におけるIMT-Advancedに関する活動（ITU-R WP5D, 3GPPs, AWF, IEEE802.16）の情報共有がなされました。
- ・ IMT-Advancedの先の新技術の例として、CCSAから3件、TTAから2件、技術項目が提示されました。
- ・ 次回のITU-R WP5D会合(第8回ベトナム会合)に向けた共同寄書作成についての検討を行いました。
- ・ IMT-Advanced無線インタフェースの提案技術の評価に関するSpecial Interest Group (SIG-EVAL) についての情報共有がなされました。
- ・ 次回のB3G WG会合のSIG-EVALのディスカッションに、インドの産学官機関でありIMT-Advancedの評価グループであるTelecom Centres of

Excellence India (TCOE India)をオプザーバとして招聘することとしました。

- B3Gのグループ名称について変更の提案があり、“CJK IMT WG”と変更することとし、WGの所掌を“IMT and other related wireless technologies”とすることとなりました。
- 次回WG第25回会合は、CCSAのホストで、5月19日に北京で開催することがアナウンスされました。

## ARIB標準規格及び技術資料のホームページでの提供状況

当会は、ARIB標準規格及び技術資料のより一層の普及を図るため、平成20年4月からARIB標準規格及び技術資料のホームページからのダウンロードを提供しています。

以下に平成21年度のダウンロード状況について、前年度との比較を交え報告します。

### 1 平成21年度の概要

- 1年間のダウンロード総件数は415,479件となり、前年度比4%減。
- ダウンロード上位を放送分野のドキュメントが占めている（4項参照）。この傾向は前年度から変わらない。
- この1年間、通信及び放送の両分野とも海外からのアクセスによるダウンロード件数が増加している。特に、通信分野の技術資料については、国内からのアクセス数を上回る。
- 英語翻訳版に対するアクセスは、標準規格及び技術資料ともに海外からが全体の過半数を大きく上回る。

### 2 平成21年4月から平成22年3月末までの1年間のダウンロード件数

総件数：415,479 (433,754) [( )は平成20年度の件数]

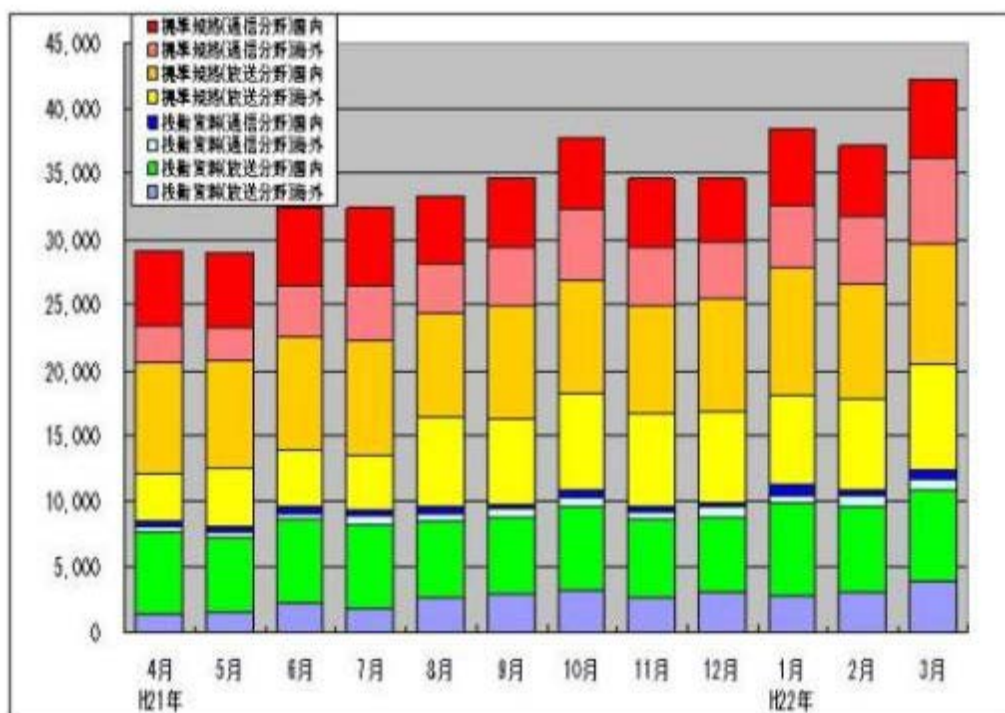
標準規格(通信分野)国内：66,345 (87,316) 技術資料(通信分野)国内：5,491 (8,631)

標準規格(通信分野)海外：52,374 (41,346) 技術資料(通信分野)海外：7,690 (5,570)

標準規格(放送分野)国内：103,945 (124,675) 技術資料(放送分野)国内：75,022 (91,059)

標準規格(放送分野)海外：72,911 (52,218) 技術資料(放送分野)海外：31,701 (22,939)

### 3 ダウンロード件数の推移（平成21年4月～平成22年3月）



### 4 年間ダウンロードトップ10件のドキュメント（平成21年4月～平成22年3月末）

順位	規格番号	文書名	ダウンロード数	
			Total	海外
1	ARIB TR-B14	地上デジタルテレビジョン放送運用規定	31,131	3,762
2	ARIB STD-B24	デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式	25,513	2,078
3	ARIB STD-B24 (英語翻訳版)	Data Coding and Transmission Specification for Digital Broadcasting	15,784	11,658
4	ARIB TR-B15	BS/広帯域CSデジタル放送運用規定	14,588	2,541
5	ARIB STD-B21	デジタル放送用受信装置（望ましい仕様）	7,551	1,037
6	ARIB TR-B14 (英語翻訳版)	OPERATIONAL GUIDELINES FOR DIGITAL TERRESTRIAL TELEVISION BROADCASTING	7,370	4,968
7	ARIB STD-B25	デジタル放送におけるアクセス制御方式	7,150	1,975
8	ARIB STD-T63	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System	6,844	3,180
9	ARIB STD-B32	デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式	6,654	1,058
10	ARIB STD-B31	地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式	6,373	1,119

#### 第161回業務委員会を開催

第161回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成22年4月14日(水) 午後2時から3時25分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要

(1) 放送分野の開発部会及び調査研究会の設置期間延長について報告がありました。

- (2) APT無線フォーラム第8回会合(AWF-8)の概要について報告がありました。
- (3) 第10回日中韓情報通信標準化会議の概要について報告がありました。
- (4) 照会相談業務について報告がありました。
- (5) ARIB標準規格及び技術資料のホームページでの提供状況について報告がありました。
- (6) エクアドル共和国における地上デジタルテレビ放送日本方式の実施に関する覚書の署名について説明がありました。

## 電気通信・放送行政の動き

携帯端末向けマルチメディア放送の実現に向けた制度整備案に対する意見募集の結果並びに当該制度整備案の一部に係る電波監理審議会への諮問及び答申

【平成22年4月14日の総務省報道資料から】

総務省は、無線設備規則の一部を改正する省令案その他の携帯端末向けマルチメディア放送の実現に向けた制度整備案について、平成22年2月4日（木）から同年3月5日（金）までの間、意見募集を実施したところ、76件の意見の提出がありましたので、提出された意見の内容及びそれらに対する総務省の考え方を公表します。

また、意見募集を経て、207.5MHz以上222MHz以下の周波数を使用する特定基地局の開設に関する指針案及び放送普及基本計画の一部を変更する告示案について電波監理審議会（会長：原島 博 東京大学名誉教授）へ諮問したところ、両告示案は適当である旨の答申を受けました。

あわせて、平成22年2月3日（水）に電波監理審議会に諮問した無線設備規則、放送局の開設の根本的基準及び標準テレビジョン放送等のうちデジタル放送に関する送信の標準方式の各一部を改正する省令案についても、意見の聴取を経て、省令案は適当である旨の答申を受けました。

総務省では、意見募集の結果及びこれらの答申等を踏まえ、速やかに制度整備を行う予定です。

### 1 経緯等

地上テレビジョン放送の完全デジタル化による空き周波数の利用については、情報通信審議会において、平成19年6月に「90-108MHz及び207.5-222MHzの周波数帯を移動体向けのマルチメディア放送等の放送（テレビジョン放送を除く。）に使用することが適当」との一部答申が、また、平成21年10月に同放送の技術的条件について一部答申が取りまとめられました。

総務省は、これらの答申を受け、207.5-222MHzの周波数を使用する携帯端末向けマルチメディア放送の実現に向けた制度整備案を作成し、平成22年2月4日

(木) から同年3月5日 (金) までの間、意見募集を実施するとともに、無線設備規則、放送局の開設の根本的基準及び標準テレビジョン放送等のうちデジタル放送に関する送信の標準方式の各一部を改正する省令案について平成22年2月3日 (水) に電波監理審議会へ諮問しました。

## 2 意見募集の結果等

- (1) 意見提出者、提出意見及びこれらに対する総務省の考え方は、別紙1(\*)のとおりです。
- (2) 意見募集に寄せられた意見等を踏まえ、規定の明確化等のため、制度整備案について別紙2(\*)のとおり一部修正しました。

## 3 電波監理審議会への諮問及び答申

- (1) 平成22年4月14日諮問した告示案について  
総務省は、上記の意見募集を経て、本日、以下の告示案について電波監理審議会に諮問したところ、告示案は適当である旨の答申を受けました。  
ア 207.5MHz以上222MHz以下の周波数を使用する特定基地局の開設に関する指針案  
イ 放送普及基本計画の一部を変更する告示案
- (2) 平成22年2月3日に諮問した省令案について  
平成22年2月3日に電波監理審議会に諮問した以下の省令案について、意見の聴取を経て、平成22年4月14日、省令案は適当である旨の答申を受けました。  
ア 無線設備規則の一部を改正する省令案  
イ 放送局の開設の根本的基準の一部を改正する省令案  
ウ 標準テレビジョン放送等のうちデジタル放送に関する送信の標準方式の一部を改正する省令案

(\*) 意見募集の結果等の全文及び別紙1、別紙2、今後の予定等の詳細は、  
([http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02ryutsu07\\_000031.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02ryutsu07_000031.html))を参照ください。